

## 第11回ダム愛好家の集い in 長良川河口堰 &水上から見る治水の歴史！！ が開催されました！！

平成30年10月27日(土)、前夜からの雨が心配されましたが、雨も上がりやや暖かくなった中、【第11回ダム愛好家の集い in 長良川河口堰 & 水上から見る治水の歴史】が開催されました！！

「アクアプラザながら」駐車場に9時45分集合、長良川河口堰管理所長の挨拶の後、管理所会議室で長良川河口堰の概要等を、長良川管理所機械課長より説明して頂きました。

概要説明では、長良川河口堰の建設経緯、目的、管理の状況等、それから、今年は台風などによる出水が多く洪水による全開操作が多かったことなどを話して頂きました。

次に、「呼び水式魚道観察室」に行き概要を説明して頂きました。当然今はアユの遡上はありませんが、上流側ではスズキ？などが遊泳しているのが見えました。また、アユの遡上状況はビデオで見て頂きました。

その後、管理橋へ登り調節ゲートや周辺の施設の説明を受けた後、左岸ロック式魚道のゲート室へと行きました。高さ8mほどのらせん階段をぐるぐる上った後、ゲート室にて巻き上げ等の各設備の説明を受け、ゲートの動きについて説明して頂きました。参加者からゲート操作に関する細かな質問がなされ、「さすが」と思ったところです。

1時間30分という短い時間でしたが、長良川河口堰の役割等について理解頂けたかなと思っています。

午後からは、愛西市葛木港から出港する木曾川観光船に乗船し、ボランティアガイドの方から、江戸時代の宝暦治水、明治時代の木曾三線分流工事の説明を伺いながら木曾川を進みました。

愛知の小パナマと呼ばれる船頭平閘門を通過時には、木曾川と長良川の水位差を実感し、長良川では、長良川にある北伊勢水道の取水施設を確認し、木曾三川公園では一端船を降り、木曾三川文庫で、昔の絵図面等を見ながら説明を伺いました。

今回は、今までのダム見学とは、少し雰囲気の違い部分もありましたが、江戸時代、明治時代、そして現在の長良川河口堰と日本の現在のダム技術に繋がっていく歴史を楽しんで頂けたのでは無いでしょうか？

次回は、来年春に開催したいと思っています。皆さん奮ってご参加ください。



アクアプラザながらの駐車場にて所長挨拶



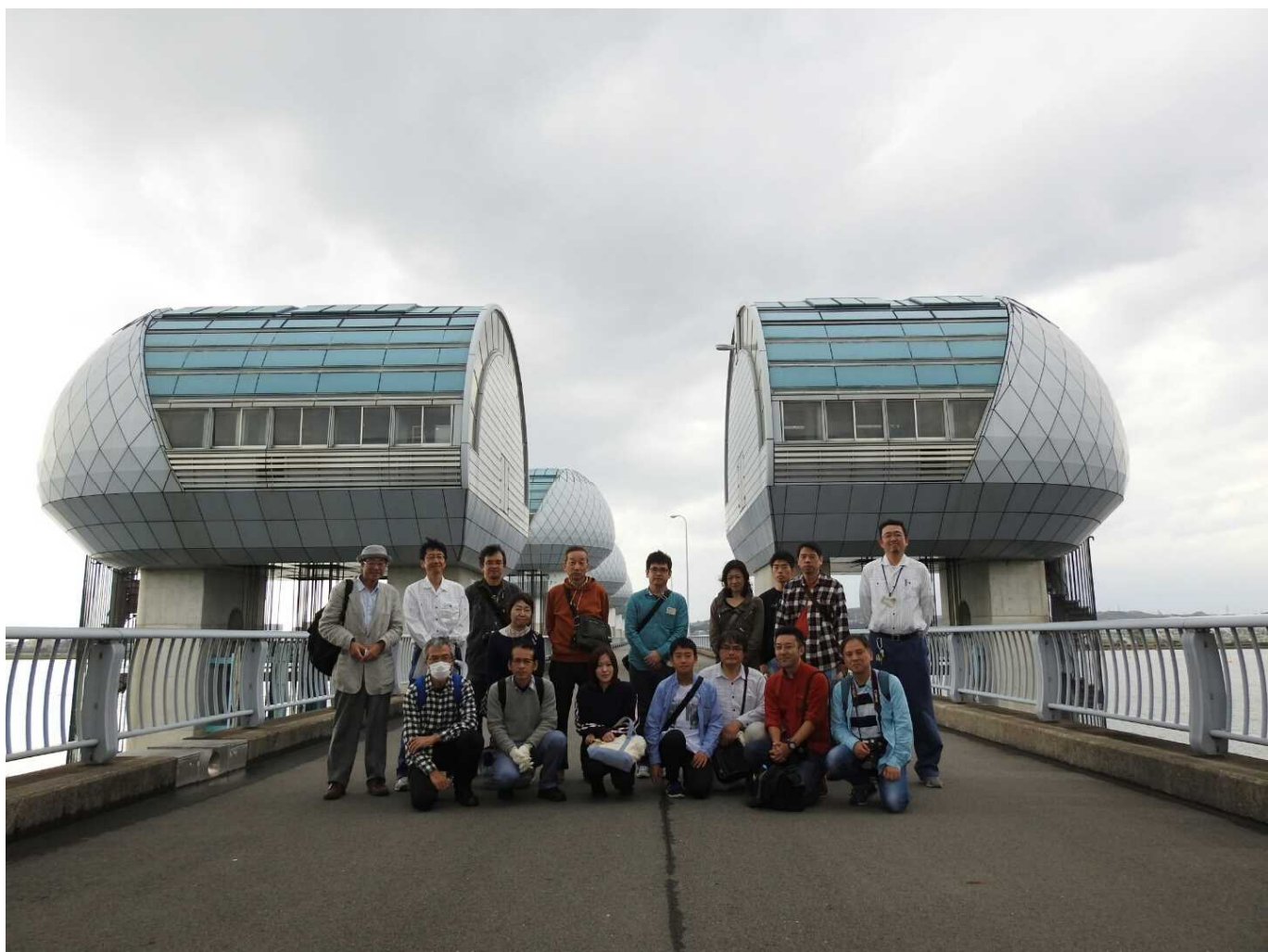
管理所会議室での概要説明



操作室の説明



呼び水式魚道観察室





木曾川観光船



ケレップ水制



船頭平閘門



船頭平河川公園に立つヨハネス・デ・レーケ像